

## 生活の場協議会グループワーク記録【R5年5月11日（木）】

【支援や事業所で、困っていること】【事業所研修でよかったこと】

【支援の重度化について】【医療との連携について】 4点について意見交換を行った。

### ●1 グループ

【支援や事業所で、困っていること】

- ・スタッフの人手不足が深刻。人材不足が原因で定員いっぱいの利用者の受け入れが難しい。
- ・経営面を考えるとグループホームは満室で稼働を行っていかないと赤字になる。

【事業所研修でよかったこと】

- ・現場の業務が手いっぱいスタッフ研修まで時間を回すことが難しい。  
質の向上を考えたスタッフ教育に課題がある。
- ・スタッフ教育のため、他事業所の見学を行いたい。

【支援の重度化について】

- ・グループホームでは区分5～6の方を受け入れている。重度自閉症と知的障害、また身体障害を重複している。
- ・入居者の高齢化が進んでいる。65歳、介護保険への移行に際してタイミングが難しい。特に精神障害者の場合、身体機能の低下がなく介護保険の等級が低くなり適切な支援が受けられない等の心配がある。

【医療との連携について】

- ・グループホームで、概ね日常の相談については協力医療機関を通して、必要に応じて大きな病院への紹介を行ってもらっている。
- ・グループホームだけでは、服薬管理など、医療面への対応が難しく、訪問看護を入れることで主治医との連携がスムーズにできるようになった。

【その他】

- ・以前と比べると障害の重度化を感じている。以前は学校で対応する児童は知的障害、ダウン症の方が主だったが、現在は発達障害者への対応が最近急増している。
- ・いろいろな障害の重度化には家庭環境が大きく影響していると感じている。本人の障害について保護者の理解が乏しい。また、保護者自身にも障害があり対応が必要な家庭も増えていると感じている。

### ●2 グループ

【支援や事業所で、困っていること】

- ・職員不足（特に夜勤者）。募集してもなかなか集まらない。離職が多い。
- ・スタッフの年齢層が高く、支援の統一が難しい。（重度の方への対応など）
- ・スタッフの質の確保
- ・利用者が増えない。
- ・精神障害や知的障害の若い女性（区分1～2）への対応。若い男性が近寄ってくる。夜間対応に課題が

ある。アパートタイプなので状況の把握が難しい。

#### 【事業所研修でよかったこと】

- ・くらしの支援部会にて紹介を行ったことで問い合わせが増えた。
- ・リスクマネジメント、ヒヤリハットのケースについての話し合いを行った。
- ・行動障害に関する研修会を実施したこと。

#### 【支援の重度化について】

- ・利用者の年齢が上がっているため、受診支援の頻度が増えている。また、転倒などの事故リスクも増加している。
- ・身体障害と知的、発達などの重複障害の方への対応については他の事業所とも連携を行っている。
- ・ヘルパーの支援の中では精神障害の方への対応が増えている。季節ごとに体調の変化などもあり、対応が難しいと感じるケースも多い。

#### 【医療との連携について】

- ・同法人内の医療機関で早急な対応。近隣の病院、精神科ともよく連携をとっている。
- ・医師や看護師との連携を実施、情報共有を密に行っている。
- ・夜勤に入るスタッフの質の問題。特に重度の方、行動障害がある方への支援を行うにあたり、緊急時の対応には課題がある。リスク管理、ヒヤリハット報告書を蓄積させ予防を行い。対応できる体制を整えていく。

### ●3 グループ

#### 【支援や事業所で、困っていること】

- ・日常的に医療行為が必要な方に対応する場合に 24 時間看護師が常駐していない。
- ・施設等での地域移行を考える場合、受け入れ先、必要な支援（ヘルパー）などが無い。

#### 【事業所研修でよかったこと】【支援の重度化について】【医療との連携について】

- ・重度の方をグループホームで受け入れるため、地域で生活が出来るように研修会を行っていくことが必要。
- ・障害の重度化、高齢化が進んでいる。グループホームを退所した後の受け入れ先が無い状況が続いている。
- ・重度の方、高齢の方、強度行動障害がある方をどうやって地域で受け入れて行けばいいか、実際受けているところがあるのか、現状、受ける資源はないと感じている。またグループホームで重度の方の受け入れは実際難しいのではないかと感じている。
- ・今までとは違い、障害がある方の特性を対応できる場所をつくっていかなければならない。
- ・研修は圏域や若楠などの大きな施設でもできるのでないか。

#### 【その他】

- ・現在入居中の方も状態が変わっていく。実際支援を継続できない時、グループホームの退所のタイミングがあるのか。高齢化や医療ニーズが増えることを想定して検討とかかれているのか？

### ●4 グループ

#### 【支援や事業所で、困っていること】

- ・退院が決まっている中、入居するまでに時間や手続きが多く、スムーズにすすむ工夫ができないか。
- ・家族への対応に困ることもある。

- ・家族が気持ち入りすぎて支援者を任せてもらえないことがある。外部に対しての信頼がない場合の関係づくりが難しい。

#### 【医療との連携について】

- ・実際事前の情報が薄く、後で情報の追加があったりし、受け入れる側としては困ることがある。

### ●5 グループ

#### 【支援や事業所で、困っていること】

- ・自宅での支援を行う中で親亡き後の生活について、ご家族の悩みを聞くことが多い。
- ・A型やB型の利用者の支援で今後の生活について悩みがあった時にヘルパーの立場として助言をすることが難しい。
- ・電話で相談がある方がいつも怒っている。電話対応の難しさを感じている。

#### 【事業所研修でよかったこと】

- ・放課後デイの療育に関する研修。研修に行った職員が伝達研修を行い事業所全体への周知が出来た。
- ・身体拘束や感染症対応に関する研修など。

#### 【支援の重度化について】

- ・支援を行う中で生活リズムが乱れ昼夜逆転になっている。状況によって日中の活動、覚醒を促しつつ、必要に応じた服薬の相談も行うとよい。
- ・薬は出来るだけ飲ませたくないという親御さんの意見、本人のこだわりから服薬に拒否的な事例への対応について困っている。
- ・初めは緊張もあり、安定した生活を送れていた。しかし、3か月ほどして緊張が解けたのか暴力、大声などが出来て他の利用者に影響、不穏になる事態がみられた。
- ・職員一人一人の発達障害、行動障害への対応が違うので課題である。本人に合わせた環境を整備する必要性を感じている。

#### 【医療との連携について】

- ・昼夜逆転がある利用者に対して主治医に相談をして増薬を行ってもらった。

### ●6 グループ

#### 【支援や事業所で、困っていること】

- ・通院を一人で行けない方への対応。基本は個人で行くことができるようにしている。
- ・夜間に病院に行ったときの対応。

#### 【事業所研修でよかったこと】

- ・外部の事業所見学
- ・相談員から案内があって勉強会に参加した

#### 【支援の重度化について】

- ・重度の方をどう受け入れていくのか課題を感じている。
- ・困難なケースに直面した場合、失敗で終わらせるのではなく話し合いを重ねて対応していく。

#### 【医療との連携について】

- ・訪問看護を利用している
- ・キーパーソンの家族と連携できているとスムーズに対応が行える。